

平成 28 年 11 月 4 日

報道機関各位

第 4 回大気エアロゾルシンポジウム -ブラックカーボン-

昨年に引き続き、大気中のエアロゾル（粒子など）に関するシンポジウムを開催します。今年のテーマはブラックカーボン（BC）です。

BC とは、聞きなれない方もおられるでしょう。コピー機のトナーを思い浮かべる方もいらっしゃるかもしれませんが。今回のシンポジウムで取り上げるのは、大気中の煤でもある黒色炭素粒子のことで、これらの大部分は PM2.5 と呼ばれる微小粒子として道民への健康影響が懸念されます。また黒色であるため太陽光を吸収することから、温暖化物質としての影響も大きい大気汚染物質です。

◎日 時

2016年11月25日（金）13：30～17：00

◎場 所

かでる 2.7 710 号会議室（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

◎主催

（地独）北海道立総合研究機構環境科学研究センター、酪農学園大学

（協賛：日本地球惑星科学連合大気水圏科学セクション）

（後援：大気環境学会北海道東北支部、日本気象学会北海道支部）

◎次第

- ・開会挨拶 道総研 環境・地質研究本部長 山田 恵二
- ・基調講演
「ブラックカーボンとは -健康影響、温暖化影響など-」 北海道大学 村尾 直人
- ・一般講演
「サイン シャンドの火力発電所から排出する煤の動態分布」 酪農学園大学 星野 仏方
「日本のバックグラウンド域におけるブラックカーボンの大気中濃度およびその沈着量」
産業総合研究所 兼保 直樹
「北海道内のPM2.5中ブラックカーボン濃度の変動について」
道総研 環境科学研究センター 秋山 雅行
「積雪中のブラックカーボンとその雪氷変動及び気候への影響」 北海道大学 安成 哲平
「ブラックカーボンとバイオエアロゾルの相互関係について」 酪農学園大学 能田 淳
「バイオマス燃焼起源のブラックカーボン」 道総研 環境・地質研究本部 野口 泉

参加申し込みは、氏名、所属、メールアドレスなどの連絡先を、シンポジウム事務局までお知らせください。

詳しくはこちらへお問い合わせください。（事務局）

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部企画調整部企画課 野 □

電話 011-747-3531* Fax 011-747-3254

E-mail izumi@hro.or.jp ※平日 8:45～17:30 土・日・祝日はお休みです。



公開シンポジウム

第4回大気エアロゾルシンポジウム

—ブラックカーボン—

時期： 2016年11月25日（金）13：30～17：00
場所： かでる2.7 710号会議室（札幌市中央区北2条西7丁目）
主催： （地独）北海道立総合研究機構環境科学研究センター、酪農学園大学
協賛： 日本地球惑星科学連合大気水圏科学セクション
後援： 大気環境学会北海道東北支部、日本気象学会北海道支部

プログラム

13：30—13：40 開会挨拶

第一部 基調講演 座長 能田 淳（酪農学園大学）

13：40—14：20 「ブラックカーボンとは -健康影響、温暖化影響など-」
村尾 直人（北海道大学大学院工学研究院）

第二部 一般講演 座長 馬場 賢治（酪農学園大学）

14：20—14：45 「サイン シャンドの火力発電所から排出する煤の動態分布」
星野 弘方（酪農学園大学）

14：45—15：10 「日本のバックグラウンド域におけるブラックカーボンの大気中濃度およびその沈着量」
兼保 直樹（産業総合研究所）

15：10—15：25 「北海道内のPM_{2.5}中ブラックカーボン濃度の変動について」
秋山 雅行（北海道立総合研究機構環境科学研究センター）

15：25—15：40 休憩

第三部 一般講演 座長 秋山 雅行（北海道立総合研究機構環境科学研究センター）

15：40—16：05 「積雪中のブラックカーボンとその雪氷変動及び気候への影響」
安成 哲平（北海道大学大学院工学研究院）

16：05—16：30 「ブラックカーボンとバイオエアロゾルの相互関係について」
能田 淳（酪農学園大学）

16：30—16：55 「バイオマス燃焼起源のブラックカーボン」
野口 泉（北海道立総合研究機構）

16：55—17：00 閉会

お問い合わせは、北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 企画課まで
(011-747-3531、izumi@hro.or.jp)